

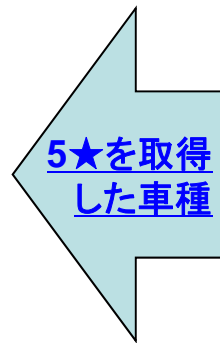
JNCAP新・衝突安全性能総合評価「ファイブスター賞」等の選定フロー(案)

すべての評価試験項目を実施した車種を対象とする。この場合において、「既に評価済みの車種で新たに追加された試験の委託試験を実施した車種」、「安全性能向上対策を行い、リベンジ試験として委託試験を実施した車種」及び「SCAのオプション設定による委託試験を実施した車種」も含むものとする。

JNCAP新・総合安全評価

ファイブスター賞
★★★★★★(5★)

メダル
賞状



新・衝突安全性能総合評価

衝突安全

- フルラップ 55 km/h
- オフセット 64 km/h
- 側面 55 m/h
- 後面衝突頸部保護

歩行者保護

- 頭部保護
- 脚部保護
- シートベルトリマインダー (PSBR)

【ファイブスター賞以外の賞】

(仮称)
ベストレコードオブファイブスター賞
Best record of five star

賞状とトロフィー

受賞条件:

- 新・衝突安全性能総合評価が最高得点の車種 かつ
- 過去の新・衝突安全性能総合評価得点以上の車種。ただし、初年度にあっては、最高得点の車種

(仮称)
ベストレコードオブ軽自動車賞
Best record of mini car

賞状とトロフィー

受賞条件:

- 新・衝突安全性能総合評価得点が160点以上【P】で最高得点の車種 かつ
- 過去の新・衝突安全性能総合評価得点以上の車種。ただし、初年度にあっては、最高得点の車種

(仮称)
奨励賞
NASVA award

賞状

受賞条件:

- 当該年度において5★取得車種が無い場合
- 新・衝突安全性能総合評価得点の最も高い車種

(旧) 自動車アセスメントグランプリ等の選定フロー

参考

平成21年度にすべての評価試験項目等を同時に申請した車種
 (委託試験車種については、衝突試験等全ての試験を同時に申請したものに限る。)

衝突安全性能総合評価	運転席 6☆ 助手席 6☆
歩行者頭部保護性能評価	レベル5
後席乗員保護性能評価	レベル4以上
後面衝突頸部保護性能評価	4段階評価の評価段3以上 (運転席・助手席ともに)

該当車種が1台の場合

該当車種が複数ある場合



グランプリ以外

後席乗員保護性能評価
 +
 後面衝突頸部保護性能評価
 (運転席・助手席の評価段平均値)

合計レベル数の大きい車種

主要な安全装置の装備状況

- ・サイドカーテンエアバッグ
- ・ESC
- ・被害軽減ブレーキ
- ・PSBR(全席装備) ※ 助手席のみは、0.5点

安全装置の数が多い車種



後部座席シートベルト使用性評価
 (標準位置における座席の平均点: 除く中央席)

平均点の大きい車種

合計点の大きい車種

合計点の大きい車種

乗員(頸を除く)・歩行者性能試験における合計得点

計算は別添参照

複数車種

同点の場合、頸部保護試験性能による得点合計
 ※ 青字部分が21年度改正部分を表す。

計算は別添参照

同点

自動車アセスメントグランプリ等の選定に係る安全性能得点の算出方法について

【乗員保護性能（死亡・重傷）】

【運転席(0～36点)】 フルラップ試験(0～12点) オフセット試験(0～12点) 側面衝突試験(0～12点)	+	【助手席(0～24点)】 フルラップ試験(0～12点) 側面衝突試験(0～12点)	+	【後席(0～12点)】 オフセット試験(0～12点)	= 72点
--	---	--	---	--------------------------------------	-------

【歩行者保護性能(死亡・重傷)】

(エリアⅠ(4点×6)	+	エリアⅡ(4点×6)	+	エリアⅢ(4点×6)	= 72点
---	-------------------	---	-------------------	---	-------------------	-------

※ 最近の交通事故死亡者数については、乗車中と歩行者に差異が少ない状況であることから、「乗員保護性能(死亡・重傷)」と「歩行者頭部保護性能(死亡・重傷)」の得点配分について1:1の比率とする。

..... **乗員・歩行者保護得点と同点の場合**

【乗員保護性能（軽傷）】

【運転席(0～12点)】 後突頸部保護(0～12点)	+	【助手席(0～12点)】 後突頸部保護(0～12点)	= 得点の高いもの
--------------------------------------	---	--------------------------------------	-----------